



精道小学校6年 西山 寧 くん の 作品

(とじて保存してお読みしよう)

## 本号のおもな内容

郷土を知ろう	.....	2
タイムマシンで歴史旅行		
座談会 『ぼくらがおとなに なったころの芦屋』	.....	4
本職訪問 神戸市立 王子動物園	.....	7
高まってきたサッカー熱	.....	8
市の年中行事カレンダー	.....	8

## ▷ 芦屋市民憲章 ◁

わたくしたち芦屋市民は

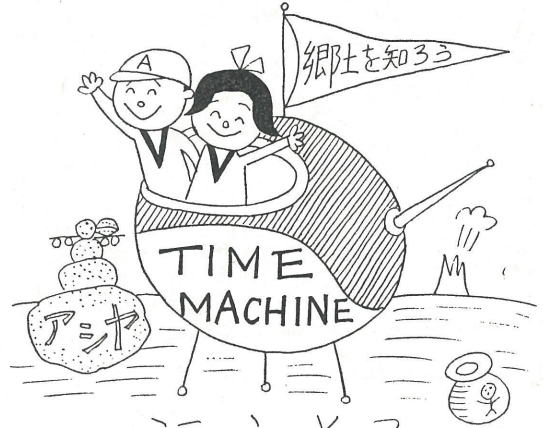
- 文化の高い教養豊かなまちをぎざぎざしよう
- 自然の風物を楽しみ、まちを緑と花でつつみましよう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てましよう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましよう
- 災害や公害のない清潔で安全なまちにましよう

## 1月1日現在の推計人口

総数	64,421 人
男	31,070 人
女	33,351 人
世帯数	17,213 世帯
市の面積	16.07 km <sup>2</sup>



# タイムマシンで 歴史旅行



福永道子

妹「おにいちゃん、世界一周旅行をするの？」

兄「ううん、ちがう。これタイムマシンっていつて、何千年、何万年のむかしでも、未来でも、自由に  
行けるんだよ」

妹「ワー、すごい。じゃあ、人間がまだ生まれていなかったころ…」  
兄「よし、タイムスイッチを十萬年前にあわせて…。さあ、出発だ」

よ「ヒューン

妹「あ、象がいっぱいいる。大きいわ。それにもものすごいキバ…」

兄「ナウマン象っていうんだ。ほら山からその骨が出てただろ。それじゃ次の時代へとぶよ」ヒューン

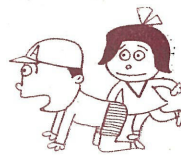
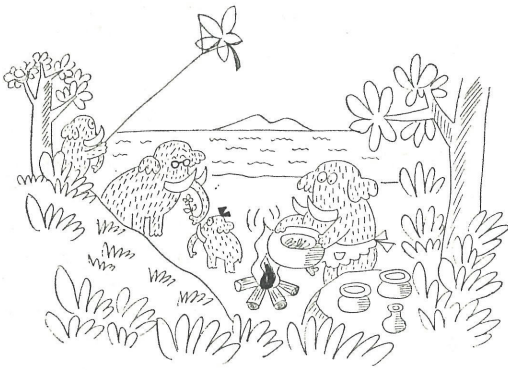
妹「あら、お家が見えてきた。タヌキやウサギが。人間もいるわよ」  
兄「ここは二千年前だ。弥生時代の集落だよ、ほら、会下山に土器や

住まいのあとが見つかっただろ。  
あそこさ」

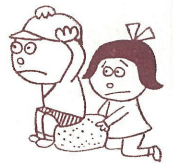
妹「フーン、むかしの人は眺めのいいところに住んでたのね。でも、どうしてこんな高いところに住んでいたのかしら？」

兄「次は四百五十年ほど前へもどろうかな」ヒューン

10万年前



2千年前



兄「ヒャー、矢がとんできた。たいへん、戦争だ！」

妹「おにいちゃん、鷹尾城よ。あの高い山は城山でしょ。芦屋川をはさんですごい激戦、どちらが勝ってるのかしら。がんばれー」  
兄「なにいつてるんだ。戦争はいやだよ。あ、鷹尾城が落城する…」

# あしや史跡案内



どうして戦争なんかするんだろう  
 な。さあ、いこう」ヒューン  
 妹「ここは静かね」  
 兄「あれ、車が走ってるよ。明治時  
 代だ」  
 妹「人力車も走っているわ」

## 戦国時代

兄「山の奥に温泉があつて、このこ  
 ろの人は車や人力車に乗って湯に  
 はいりに行つたと、うちのおじい  
 ちゃんが話してたよ」  
 妹「明治の時代がずっと  
 続いていたら、ことは  
 は明治百年にあたるん  
 ですって…」  
 兄 ヒューン「ああ、お  
 もしろかった」  
 妹「なあんだもうおしま  
 いなの。」

## 明治時代

会下山で  
 みたころ  
 の時代は  
 芦屋は草  
 ぼうぼう  
 の野原だ  
 ったのに



いまは家がぎっしりね。それに  
 ずいぶん高い建物もあるし…。あ  
 のころの人にみせたらびっくりす  
 るわよ。またこの次もつれていっ

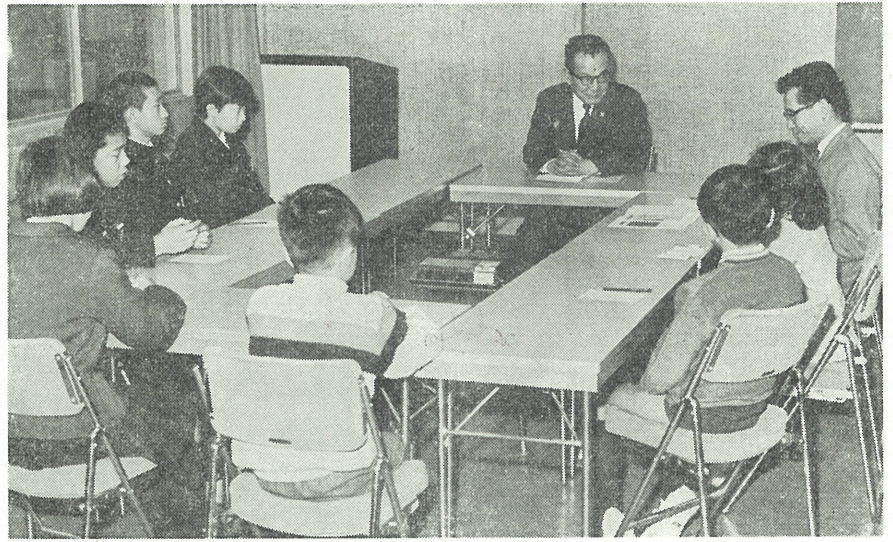
てね」

兄「きょうは時間がたりなかつたけ  
 れど、芦屋の歴史はこれだけじゃ  
 ないよ。ねえ、きみもぼくたちと  
 いっしょに勉強してみない？ お  
 もしろいよ」



いつまでもみどりと高い文化を...

なつたころの芦屋

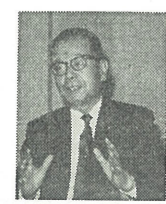


渡辺市長をかこんで活発に意見や希望をのべるおともだち

です。さて、わたしが市長になつてまる三年たちましたが、この三年間は六万人の市民の住みよいまちにするために、まず、芦屋の地固めに努力してきました。

本間 そういうおしごとは、どんなふうにしてきめられるのですか。

市長 それはね、やはり市民の要望によるわけです。市がしなければならぬことはたくさんありますけれども、中でも「まずこういうことをしてほしい」という声の多いものを優先的に実現してあげるのが、市民のねがいにあった市政です。しかし、そうかといって市のす



るしごとが思いつきだったり、その場かぎりのものではないけませんね。みなさんが勉強しているのに目標があるように、市政も芦屋市の将来とすることを見とおしたうえで、それならばこういうふうにしていこうという、将来と芦屋市全体とをみきわ

司会 新しい年をむかえましたがみなさんはそれぞれの学校で、学年最後の仕上げをする三学期を過ごしているわけですね。市役所のしごと、会計年度といつて三月がひとつの区切りになりますから、ちょうど同じようなことがいえます。同時に、四月からはじまる昭和四十三年度にするしごと、そのための予算などをきめなければならぬので、たいへんそがしくしています。ちょうどこんな時期ですから、市長さんの考えとか、さきさきの芦屋の姿についてのみなさんの意見をこれから話しあってもらおうと思います。

市長 わたし、以前に山手小学校の校長をしていたことがあります。だから、こうしてありますとむかしにかえて、学校でみなさんとお話をしているようで、とてもなつかしい

ぼくらがおとなに

出席者

北野順子さん(精道中3年) 森泰士くん(山手中2年) 山際雅幸くん(精道中1年) 野村愛子さん(山手小6年) 河岡武樹くん(岩園小5年) 吉岡直くん(精道小4年) 本間多佳子さん(宮川小3年) 司会・大谷公聴広報課長

めて考えた構想をもっているわけです。みなさんの場合だったら、学校のことで注文があるでしょう。

河岡 ぼく岩園小学校ですけど、運動場がせまいので、生徒会で運動場の使い方をよく相談しあいます。

山際 精中もいくつもの運動部がひしめきあっている状態です。

野村 雨ふりでも運動ができるように体育館がほしいと思います。

森 校舎の色が古ぼけて、山手中



学校の象徴の白い塔がひきたらないんです。全部ぬりかえて

もらったらと、よく思います。

市長 学校の運動場もふくめて、広場の問題には土地がないという大きな悩みがあります。かりに大きな運動場をつくってもそこだけにおおぜいが集まれば、せまい思いをする点では同じことですね。だから、たとえば小学校の校庭開放なんかをしているわけです。それから、市民の

みなさんからすぐ使われない土地を市が借りてそこを「ナビッコ広場」にしたいと、土地の提供をお願いしたいと思っています。また、埋立地ができたら広いグラウンドもつくりたいと考えていますよ。



吉岡 ぼくら野球チームの練習のときでもねよほど早く行かないと場所とれないしね。ゼヒグラウンドつくってほしいですね。

司会 それじゃあ、四十三年度のしごとについて聞いてみましょう。

市長 芦屋を充実したまちにしたいと、いままでは「飛躍のための充実」を基本方針にしごとをしてきましたが、こしはいよいよ「充実から飛躍へ」をテーマにします。水のこと、下水道のこと、衛生のこと、病院のことといろいろありますけれども、とくにわたしが力をいれているグループづくり、これをもっと進めます。そのために、市民会館の

増築や大ホールの建設、それに集会所もつくりたいです。もうひとつはね、芦屋が自慢しているみどりの保存です。山手中学校うらの会下山から六麓荘町まで、山ろくのみどりのベルトを守り、育てて、中には森林植物園もつくりたい考えです。みどりと広場と太陽が失われないうちづくり、みなさんが誇りのもてるまちづくり、六万市民みんなそんなまちにしたいですね。

森 きよ年の七月の大雨で、ぼくらの学校付近の山なんかも土砂がくずれてね。こんなことが起こらないようにせんと、せっかくのみどりが失われると思います。



北野 こつばの感じからかも知れませんが、わたたくしは充実の方がもったいないせつなことだと思ふんですけれど、飛躍のためにこわされるものもあると思います。市長 たとえば、宅地づくりがあ



りましょう。宅地はできて自然がこわされたら、あなたのおっしゃるように何にもなりません。でも、保存にばかりこだわって開発がなければいけない。つまり、いままでのものを生かした開発を考えなければならぬ。



山際 埋立地は住宅を主体にした地区になるのですか。

市長 そう。大半が住宅地で、そのほかに学校とか公園などの用地をとります。また、下水の処理場をここに完全地下式でつくります。埋立工事は、いよいよこの秋ごろからはじめることになりましょう。

本間 そこには子供ばかりで自由に使えて、劇や映画会や合奏などがたのしめる場所もほしい。司会 では、最後にみんながおとなになったころの芦屋を考えてみま



しょう。野村さん、どう？

野村 芦屋はいまでも都市との交通はべんりなんですけどね、もっと高速道路がほしいです。



吉岡 だんだん家がふえて住む人が多くなったら、車もふえて、道がせまくなるでしょ。そんな心配のないまちでないとあかんと思います。

それから、となりどうしの市が仲よく手をつないでいけるように。あのね、ぼくらが神戸市の施設をどしどし使えるかわりに、神戸の人も芦屋市の青少年センターでも何でもぼくらと同じように使えるようにね。

森 都市には、それぞれの立場があるわけですよ。大阪なら商業都市として、神戸は日本の表玄関としてこれからもますます発展し、近代化されていくと思うんです。だから芦屋はなおさら住宅都市という立場をいつまでも守ってもらって、市政を行なってほしいと思います。

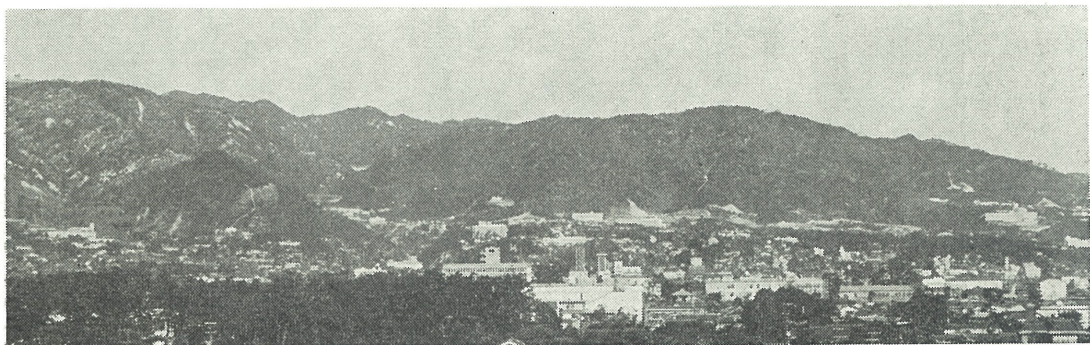
北野 たしかに、神戸や大阪はものすごく近代化されると思います。そうなるると身体的な住みごちはよくなるでしょうけれども、精神的な面はどうかしら。人間同士のつながりのもてるように、住んでる人が心たのしくしていけるように、文化都市のなかみを充実してほしいです。

市長 同感です。市民同士の地理的な距離は近くても、心と心の距離が遠くでは気があうわけがありませんね。そこで、市民意識を高めることがこれからはたいせつです。



河岡 あの、さっき吉岡君がいったこと、ぼくもそう思います。学校や幼稚園もふえて、遠いところへかよわなくてもいいように。

山際 ぼくは、芦屋の個性を生かしていつ、近代的な中でも高い文化性を残していただきたいです。市長 だいじなことばかりです。芦屋をみんなよくしまししょうね。



東西およそ2キロメートル。その芦屋の山ろく一帯のみどりを保護して大きなグリーンベルトにしよう



寒いうえにくもり日だったせいか、ぼくたちが訪問した日の王子動物園は人がげもまばらで、おりの方から聞こえてくるウォー、ギャーという動物の声だけが静かな園内にひびいていた。七万平方メートルの園内は、傾斜道や階段が多い。そのあちこちに、だいたい百五十種、六百匹もの動物がいる。

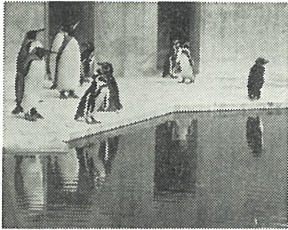
ここの飼育係は、係長さんと獣医の先生とをふくめて十六人。案内してくださった福田さんはその中の一人で、十五年間も飼育係のしごとをされている。世話をした動物はみんなかわいいけれども、



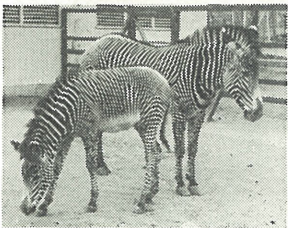
# 本 職 訪 問 第 3 回

今回は小学生のおともだちが神戸市立王子動物園をたずねて飼育係の福田元二さんからお話を聞きました。写真は左から、岩園小3年・川崎純子さん、精道小6年・石川まり子さん、山手小4年・加藤英幸くん、宮川小5年・宮崎洋一くん。

あいきょうものペンギン。寒くないのかな



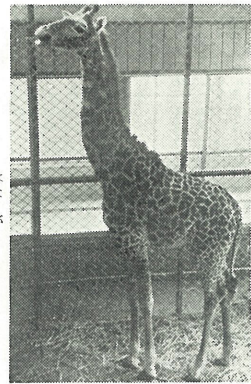
シマウマのもようは横断歩道みたいだ



表情や、しぐさをはっきりわかるほかに、種類、それにこの動物園で生まれた動物はとくにかわいいそうだ。いま、福田さんはコウノトリなどの鳥類と、キリンの世話をおもにしている。

こんな説明をしてみたいながら順番にのりを見ていくうちに、ガラス戸をしめたキリンの小屋へついた。中にはいると一頭のキリンが目をつりくりさせてぼくたちを見た。とてもかわいい。ぼくたちがいくらか呼んでもこなかったキリンは、福田さんのひとこえでうれしそうにすりよってきた。こんなのを飼ってみたいと思う。でも、めんどろをみるおじさんたちはたいへんだ

王子動物園には放し飼いの動物はいない。また、それぞれの種族の保存が目的だから雑種はつくらない。暑くなると動物の体力は弱り、えさもくさりやすくなるので、いまごろよりも夏の方が飼育はむずかしい。小屋は毎日そうじをし、肉食動物なら一日一回、草食動物は二回ずつえさをやるが、はちゅう類はなかなかえさを食べず、とてもむずかしい。一匹だけで遠いところからきた動物は、やはりさびしい思いをしているだろう。こんな説明をしてみたいながら順番にのりを見ていくうちに、ガラス戸をしめたキリンの小屋へついた。中にはいると一頭のキリンが目をつりくりさせてぼくたちを見た。とてもかわいい。ぼくたちがいくらか呼んでもこなかったキリンは、福田さんのひとこえでうれしそうにすりよってきた。こんなのを飼ってみたいと思う。でも、めんどろをみるおじさんたちはたいへんだ



こんなキリンを二頭飼ってみたい



美しいすがたのコウノトリ

これまでに福田さんも、動物にひっつかれたり、かみつかれたり、大きな象にけられそうになったり、というような事故があられたが、それはこちらに手落ちがあったからだとけつして動物をにくまず、いつも自分を反省されるそうだ。ぼくたちの生活の中にも、同じことがいえるのではないだろうか。動物をこんなにあたたかい目で見守る―これが、ほんとうの動物を飼うことだと思った。それから、ぼくらが学校や家で飼っている小鳥や動物の相談室でも開いてもらえたら、とてもいいのだがな。

コウノトリは特別天然記念物として保護されている鳥だ。日本では兵庫県の北の方にある豊岡市などに少ししか残っていないそうで、昭和四十年には「県の鳥」になった。この動物園にいる四羽は中国から送られてきたコウノトリで、福田さんは、もっとたくさんにふやしたいといわれていた。

ろうな。



日本の国技は「すもう」ですが、ブラジルではサッカーを国技としています。昭和三十九年に開かれた東京オリンピックくらい、日本もこのサッカーがたいへんさかんになり、芦屋でも昨年の六月、小学校五、六年生のための「芦屋市少年サッカー

# 熱サッカー

高も  
まってきた



基本練習のあと2チームにわかれてゲームもする

クラブ」ができました。二十五人のクラブ員は、正しい技能を教わりながらたくましいからだをやしない、規律を身につけようと、毎月第一と第三日曜日の午前九時半から二時間山手中学校の運動場に集まって、四

渡辺市長からはクラブ旗をプレゼント



人の経験豊かな指導員のもとで基礎になる動作をくり返し練習しています。ことに昨年十一月には、待望のクラブ旗とワッペンもできて、みんな元気がいっぱいです。少年サッカークラブにはいりたい人は、山手中学校（芦屋市三条町一、電話②五一八〇番）の高瀬先生へ申しこんでください。

また、一月十四日には、おにきさんたち社会人も芦屋サッカー協会をつくりました。このように、芦屋にもサッカーをしようとする人は、ますますふえてきています。

## 市の年中行事カレンダー

- 2月 市民マラソン・11日/ペスタロッタ祭・17日(ことしは16日に行ないます)/公民館の文化映画会・20日/図書館こどものつどい・毎月の最終土曜日 3月 文化映画会・19日/たねの銀行・中旬~4月末/芦屋市安全都市宣言記念日・31日/市内こども史跡めぐりの会・下旬/少年少女スケート教室・下旬/少年ソフトボール大会・下旬 4月 邦舞大会・上旬/文化映画会・16日/少年剣道教室・中旬 5月 芦屋市民憲章制定記念日・3日/文化映画会・21日/業平祭・下旬 6月 芦屋市展・上旬/芦屋ユースホステル開所記念ラリー・10日~11日/文化映画会・18日 7月 市民プール開場・1日~9月10日/文化映画会・16日/水練学校開校・下旬~8月下旬/芦屋夏期大学・下旬/社会見学会・下旬 8月 早朝登山・1~7日/少年野球大会・上旬/文化映画会・20日/市民将棋大会・中旬/少年少女卓球大会・中旬/少年剣道選手権大会・中旬/市民水泳大会・中旬/こどもお話と紙しばいの会・中旬/植物なまえしらべの会・下旬 9月 文化映画会・17日/くふう創作展・中旬/たねの銀行・中旬~10月末 10月 市民体育祭と市民レクリエーション大会・10日/中学校球技大会・15日/あしやまつり・15~17日/文化映画会・15日/合唱祭・下旬 11月 芦屋市民文化賞贈呈式・3日/市制記念日・10日/文化映画会・19日/書道展・下旬/市民マラソン・下旬 12月 芦屋市教育委員会設置記念日・1日/童美展・上旬/芦屋市教育委員会設置記念卓球大会・上旬/市民マラソン・中旬/文化映画会・24日/少年少女スケート教室・下旬/クリスマスこどものつどい・下旬 1月 こども書きぞめ会・上旬/かるた大会・上旬/成人式・15日/市民マラソン・下旬/囲碁大会・下旬